

運営メンバー募集中

# ARTとSOCIALの交差点

AKIBIplus × 五城目

少子高齢化が進む日本。社会課題は日本、ひいては世界のどの地域も同じ課題を抱えている。同じ課題に対し、同じ解決策を出しあい、均質化する地域。ローカルだからこそその価値が求められるいま、五城目の里山で紡がれてきた生活文化の体感を通して、社会課題をアートの切り口で芸術に結びつけます。

運営メンバー募集中

企画運営を通してアートマネジメントを学びたい人を約5名募集しています。4回のプログラムへの参加と12月に開催される展示への制作活動への協力ができる方を優先します。

- ・五城目の生活文化、風習、信仰などに関心がある方、
- ・まちづくりや社会課題へ取り組みたいと思っている方



秋田公立美術大学  
AKITA UNIVERSITY OF ART



当該講座は AKIBIplus2016 地域間・メディア連携による芸術価値創造プロジェクト芸術価値創造拠点③五城目町として「文化庁 平成 28 年度大学を活用した文化芸術推進事業ローカルメディアと協働するアートマネジメント人材育成事業」の一環として行っております。当該講座を含む AKIBIplus2016 全体の趣旨や他の事業・講座については公式サイトよりご確認ください。  
※いずれの講座も受講料はかかりませんが、旅費・交通費は自己負担となります。

[申し込み・問い合わせ]

秋田公立美術大学 AKIBI plus 事務局 〒010-1632 秋田市新屋大川町 12 番 3 号  
・メール akibiplus@akibi.ac.jp ・電話 018-888-8478(秋田公立美術大学企画課)



vol.1

## 「里の自然を感覚する方法」

9/30(金) 9:00-16:00・10/1(土) 10:00-17:00

【概要】

豊富な自然がある日本の田舎。でも、自然を深く感じながら生きる人は少ないのではないのでしょうか。第 1 回目のプログラムでは、写真家の視点から、五城目の里の自然を感覚することにチャレンジしてみます。

【講師】田附勝(写真家)

1974 年、富山県生まれ。写真を独学で学び、スタジオ FOBOS に勤務後、フリーランスとして活動開始。アート・トラックに出会い、9 年間に渡り全国でトラックおよびドライバーの撮影を続け、2007 年に写真集『DECOTORA』を刊行。写真集『東北』で、第 37 回木村伊兵衛写真賞を受賞。



vol.2

## 「食と暮らし」きのお祭り

10/15(土) 9:00-16:00

【概要】

秋と言えばきのこ。山菜が豊富な地域だからこそ手に入る天然のきのこなど、山の幸を祝うのが「秋の朝市きのこまつり」。食べて美味しいだけでなく、宗教や信仰にとっても山菜は深く関わりがあります。山形で出羽三山の山伏文化と精進料理を世界に広めた成瀬氏をお招きして、食べることで祈りの繋がりを探ります。

【講師】成瀬正憲

1980 年東京都生まれ、岐阜県中津川で育ち。2007 年に福井県三国湊へ移住し、地域づくり・環境教育に携わる。羽黒修験「秋の峰」に参加。2009 年に山形県に移住し、羽黒町観光協会職員として地域活性化事業に携わる。パリとブダペストにおいて「出羽三山の山伏文化と精進料理」を紹介、翌年「出羽三山精進料理プロジェクト」を立ち上げる。日知舎設立。大地の芸術祭・越後妻有アートトリエンナーレ 2012 で森繁哉の舞踏作品「日仏共同制作 フクシマー痛むものたちの声」に出演。

2013 年に生活工房で開催された「アツギ展一山と里、庄内に学ぶ」に関わった天野典子、稲葉鮎子、吉田勝信とリトルプレス・アツギ編集室を設立、『アツギ手帳』出版。



vol.3



## 「朝市と地政学」

10/30(日) 9:00-12:00

【概要】

500 年続く朝市。そもそもなぜこの五城目町で朝市を作ることになったのかを地政学的視点で読み解くことを 300 年続く福祿寿 16 代蔵元渡邊氏と、そこで花咲いた風俗を小松氏と探ります。

【講師】小松和彦

1976 年秋田市生まれ。青山学院大学史学科卒業(考古学専攻)。カンボジアでの NGO 活動を機にアジアの手仕事や民族文化に感銘を受け、以来、アジア、アフリカを中心に世界 30 か国あまりを訪ねて、美術工芸品の収集や商品の企画、販売を手掛ける。2006 年より工芸ギャラリー・小松クラフトスペースの代表に就任。2011 年より秋田県内を中心に遊廓、花街の調査活動を開始。論文に「全国遊廓案内、全国女性街ガイドにみる秋田県下の色街」(『全国遊廓案内《復刻版》』所収、カストリ出版、2015 年)がある。

【講師】渡邊康衛

1980 年五城目町生まれ。1688 年創業の福祿寿酒造株式会社 16 代目代表。東京農業大学醸造学科を卒業後、蔵入り。2006 年に「一白水成」を作り、ANA のファーストクラスなどでも導入。酒造りの現場で活躍する蔵元が「技術交流」「情報交換」を目的に有志で活動を開始したのが「NEXT5」のブルーを務める。



vol.4



## 「地域の暮らしと学校」跡地めぐりとお湯の時間

11/12(土) 10:00-16:00

【概要】

7 校あった小学校は 2014 年に五城目小学校 1 校に統廃合された。なくなったけど、それぞれの小学校でその地ならではの教育がされていたそうです。内川地区の学校跡を巡りながら、今では想像もつかない学校の様子を体験します。

【講師】畑澤與左右衛門

五城目町生まれ。農業生産法人アグリ代表、有限会社畑澤造林代表。山間の景色を次の世代へ繋ぐべく、次世代の農林業リーダーの育成と、地域の高齢者の雇用機会の確保に尽力。趣味は町の子どもたちと遊ぶこと。



vol.5



## 企画展：「ART と SOCIAL の交差点」

展示期間：12/1-12/11(木~日) 16:00-18:00

ギャラリートーク：12/4(日) 14:00-16:00

ネットワーク交流会：12/4(日) 16:00-18:00

【概要】

4 回のフィールドワークでの体験(ART)と、町の未来(SOCIAL)を結びつける企画展を開催します。会場は朝市通り近くのギャラリー「ものかたり」です。ギャラリーオーナーの小熊氏とゲストを招いてのトークショーを予定しています。

【講師】小熊隆博

1982 年五城目町生まれ。京都造形芸術大学卒業後、ベネッセアートサイト直島で勤務。経験を活かして 2015 年に U ターンし、芸術環境研究所みちひらきを創業。ギャラリーものかたりの代表を務める。